



森のなかま

2019年6月号

NO. 134 (継続279号)

NPO法人かながわ森林インストラクターの会 <http://www.forest-kanagawa.jp> 発行人 久保 重明
〒243-0018 厚木市中町2丁目13番14号・サンシャインビル6階604号 TEL046-297-0301・Fax046-297-0302

街頭キャンペーン相模原 クレマチスフェア

場所：相模原市麻溝公園

5月5日(日・祝) 晴れ、 参加：175名(大人108名、子ども67名)
5月6日(月・振休)曇り、 参加：131名(大人72名、子ども59名)
(9:00~15:00) 計 306名(参考昨年：93名)



<普及啓発部会 記：森本 正信 5期>(写真:松本 保 11期)

令和最初の「かながわ水源の森林づくり」キャンペーンとなったクレマチスフェア。
10連休中でのイベントで、300名越えの啓発人数となって良かった。

鉄板メニューである「葉巻笛とロケットラワン」を中央に据えて集客し、受付・紙芝居へと流す作戦に確かな手応えを感じた。今後、声かけに注力するなどして、この導線をより確実なものとしていきたいなと思いました。



会場マップ

私達のブース



受付



左から:受付、葉巻笛/ロケットラワン、緑の募金、グッズ
裏側では:紙芝居、丸太切り



葉巻笛/ロケットラワン
(作り方、飛ばし方のレクチャーも)



緑の募金



グッズ

財団 5/5 大木様、5/6 山口様
インストラクター：
5/5:L小野⑮、菊地①、米本②、相馬⑤、
安部⑤、鈴木⑤、小野⑦、渡部⑦、村井⑨、
宮下⑩、松本⑪、澤村⑫ の12名
5/6:L森本⑤、菊地①、米本②、高橋③、
安部⑤、小野⑦、渡部⑦、村井⑨、宮下⑩、
澤村⑫、小野⑮、石井実⑮ の12名



紙芝居



丸太切り

自然観察部会 第93回森林探訪

「若草薫る陣馬山へ 春の花との出会いを楽しむ」 里山の春と県北の自然を訪ねて

日時:平成31年4月21日(日)8:50~15:00 晴れ 参加者:42名

コース:和田バス停—和田第一尾根—尾根合流—陣馬山頂—和田第二尾根—和田バス停(解散)

<自然観察部会 記: 山口 正志 14期> (写真協力: 河西 静夫 15期)

今回森林探訪として選んだ陣馬山は、山を縦走する方もいるので高尾のイメージが強く、東京都と勘違いされている方も多いのですが、実際には神奈川県と東京都の県境に位置しています。その陣馬山の名前の由来は、北条氏の滝山城を攻めた際に武田氏が陣を張った「陣場」説をはじめ諸説あり、大変興味深い場所でもあります。

最寄りの藤野駅よりバスに乗り約20分で終点和田に到着。そこから登山口まで徒歩で向かいます。ここは「にほんの里100選」「かながわのまちなみ100選・蔵のあるまち」にも選ばれ、里山の原風景が残る場所です。途中、すづまりの2階屋根(越屋根)の家が見られます。ここはかつて2階で養蚕を行っていた名残です。また、所々茶畑なども広がっています。

登山道に着きますと、まずは雄しべが10本のトウゴクミツバツツジと異なり、5本がポイントで今が見ごろのミツバツツジをはじめ、イカリソウ、ヒトリシズカ、センボンヤリ、ミミガタテンナンショウ、エイザンスミレなどが咲き誇っていました。イカリソウの和製バイアグラ、ヒトリシズカの花被がない不思議な形状、はるな愛ではないですがミミガタテンナンショウの性転換の話などで盛り上がりました。道の途中、左手はかつて材に使った針葉樹林、右手は萌芽更新が目立ち、かつて薪炭に使った広葉樹林が広がり、その比較にもふれました。

春の時期はクスノキ科クロモジ属の花が競って咲きます。咲く順序として、まずは花序柄のあるアブラチャン、次に花序柄のないダンコウバイ。この両者は冬芽が頭に入っていると花序柄の有無が納得でき、見分けが容易です。そして最後に咲くのは和菓子につく楊枝で有名なクロモジ。本番では時期的にクロモジが中心でしたが、これらの比較を楽しみました。

山頂はやや曇っていて眺望的に富士山などは楽しめませんでしたが、サクラムも咲き、見晴らしの良い開けた山頂でゆっくりお昼を楽しみました。

バスの出発時間の関係で、後半はややハイペースに。それでもヤマブキ、オオツクバネウツギ、ヤシャブシ、ヤマボウシ、チゴユリ、フデリンドウ、ニンソウ、オオイヌノフグリなどが見られました。ヤマブキの太田道灌の話は多くの方がご存知で、シロヤマブキとの違いを説明しました。ヤシャブシは漢字で書くと夜叉五倍子ですが、五倍子の由来について解説しました。オオイヌノフグリは和名の名の由来はやはりご存知の方が多く、代わってこの花の属名をベロニカと呼びますが、その名の由来について触れました。

下山し解散した際、山里ではちょうど祭りの準備でお囃子が帰りのバスでも賑やかに聞こえ、まるで「また来て下さい！」と我々を見送るようでした。

スタッフ:看護師 青木様

インストラクター:CL 松石⑬、L内野⑨、L山口⑭、女川⑨、上宮田⑩、

赤崎⑫、小池⑫、西岡⑭、河西⑮、小杉⑮、飛田⑮



陣馬山山頂



ヒトリシズカ



若葉の尾根道を歩く



里の春祭り

森のめぐみ シリーズ

枠組は桜の小枝です

トリテルペンとステロイドの配糖体は特にサポニンと呼ばれます。サポニンの名の由来は、水に溶かし、かき混ぜると石鹸のような泡を生じることからラテン語で石鹸を意味する「サポ」からきています。サポニンは水に溶けにくい有機性のアグリコンと水溶性の糖が結合した形をとっているため水と油の両方に溶けます。それで界面活性作用があるのです。ほかには水中の魚を死に追いやる魚毒性や赤血球を破壊する溶血作用、体内のコレステロールと複合体を作りコレステロールを除去したり、血栓のもとになる過酸化脂質ができるのを抑制する作用があります。また、抗菌、消炎、解熱、鎮静、健胃、強心作用などの薬理作用のあるサポニンも多く存在し、サポニンを含む植物は民間薬として広く利用されてきました。

自然界にはサポニンを含む植物は多く、現在のように合成洗剤が豊富に出回る前には石鹸として使われてきたものもあります。羽子板の羽根の玉や数珠に使われてきたムクロジの果皮もその一つです。南米に自生するバラ科のシャボンノキの樹皮はトリテルペン配糖体のキラヤサポニンを含み、洗濯、洗髪に利用され、欧米では歯磨き用、飲料の発泡剤として利用されています。



ムクロジの果皮と実

ツバキの葉に含まれるサポニンは植物病原菌に対しても抗菌作用を発揮します。ツバキの葉がいつも活力ある緑をしているのはそのためです。ツバキの種子の圧搾によって得られるツバキ油のサポニンにはコラーゲン、ヒアルロン酸の産生促進作用があり美容効果を発揮します。種子の搾油で得られるツバキ油はオレイン酸、リノール酸を含み食用

第30回の1/2 薬としての働きを持つサポニン

東京大学名誉教授 谷田貝 光克 氏

油、整髪油として用いられていますが、種子の搾油粕のサポニンには魚毒作用があり川魚の採取に使われていましたし、殺蟻作用があることもわかっています。ツバキのほかにもサポニンを含む木にはシロアリに強いものがあります。モッコク、ハリギリ、チャの木などです。



ツバキの葉と実

サポニンを含む植物には薬理作用があり、生薬として用いられているものが数多くあります。セイヨウトチノキ(マロニエ)そしてわが国では街路樹となっているトチノキの実に含まれているエスシンというトリテルペンのサポニンには炎症時の滲出物の分泌を抑える働きがあり、化粧品にも用いられていますが、ほかに血糖値上昇抑制作用、抗肥満作用も知られています。エスシンは苦みの強い物質ですが、トチの実をアルカリ性の木灰につけてあく抜きするのはエスシンについている糖を部分的に取り去って苦みを弱くするためです。



トチノ木の果皮と実

つづきの第30回2/2は8月号掲載です。

(イラスト 広報部 加藤 優美 ⑤)

活動短信

今回の掲載は平成最後の
H31年4月13日～H31年4月27日 分です。



フリーイラストより



鴻雁北 4/10～4/14頃
こうがんきたす
雁が北国へ去っていく
第十四候 清明 次侯

霜止出苗 4/25～4/29頃
しもやんでなえいずる
霜がやみ苗が生長するころ
第十七候 穀雨 次侯

活動短信への投稿概略フォーマットと略語の説明
ページレイアウトは気にせずベタ書きで結構です。
(できれば Word、メール直筆でも OK。Excel はできるだけ
避けてください。改行等の処理に手間を要しますので
写真もあれば1枚添付ください。)

◆ **活動団体・活動名 等**

- 日** 日付(できれば時間と天気も)
- 場** 場所 (例: 相模原市緑区 長竹承継分収林)
- 参** 参加者 人数
- 県** 神奈川県 環境農政局 緑政部
水源環境保全課 水源の森林推進グループ
- 財**(公財)かながわトラスみどり財団、**看** 看護師
スタッフ 例 小田原市森林組合XX様
例 川崎市公園緑地協会・XX様
- イ** インストラクター (○数字:期) **研**:研修枠
以下の本文を概ね400字前後を目安として執筆ください
リーダーは責任を持って執筆者の選択と執筆後のチェック
をお願いします。(執筆者もお忘れなく!!)

◆ **キリンビール株式会社 間伐及び自然観察活動**

- 日** 平成31年4月13日(土)9:45～12:45、晴れ
- 場** 足柄上郡松田町 やどりき水源林
- 参** 社員及びその家族、計95名
- 県** 新谷様
- イ** L西出⑫
(間伐)佐藤⑤ 小野⑦ 岩田⑭ 木村⑭ 水野⑭
(自然観察)内野⑨ 赤崎⑫ 西岡⑭ 山口⑭ 河西⑮
春爛漫のやどりき水源林は、青空が広がる絶好の活動
日和となり、大勢の方に参加頂いて、楽しいひと時を過ご
されました。開会式の後、間伐6班(47人)、自然観察5班
(48人)に分かれて、活動に入りました。

間伐は、スギとヒノキの混交林で、伐倒木は胸高直径
20cm 前後、樹高15m程です。何度も参加されている方も
おられて、伐倒、枝払い、玉切りと作業は順調に進みまし
た。1班はスギ2本、その他の班はヒノキ各1本の間伐を

行いました。皆さん、少し明るさを増した森を眺めて、成果
を確かめておられました。

自然観察は、お子さま24名を含む大勢の方が参加さ
れました。樹木の芽がほころび、鮮やかなヤマブキの花の
色が美しく、心がわくわくするような春の1日に、楽しく水
源林や自然について学べるよう、インストラクターは工夫し
ながら活動しました。

また、今回お子さま限定ですが、手作りのカスタネットを
作成しました。思い思いに色を塗り、世界に一つだけのカ
スタネットを大切に鞆にしまわれていたのが印象的でした。
もちろん、丸太を切って、コースターの作成も同時に行い
大人の方も楽しんでおられました。皆さん、それぞれの
手作りのお土産を持って帰路につかれました。

(記 西出 健一 ⑫、赤崎 さほり ⑫)

かながわしずくちゃん Facebook は下記URLで見ることができます。



<https://www.facebook.com/kanagawa.sizuku>

◆ **神奈川トヨタ自動車株式会社**

**マイクスアウトドイベント GOOD OPEN AIRS 2019 春
＜丸太切り・シュロバッタ作り・葉巻笛作り＞**

- 日** 平成31年4月13日(土)14日(日)10:00～16:00
両日とも晴時々曇り
- 場** 愛甲郡清川村 宮ヶ湖 小中沢園地
- 参** 4月13日(土) 丸太切り150名、
シュロバッタ 40名、葉巻笛 150名
4月14日(日) 丸太切り200名、
シュロバッタ 60名、葉巻笛 200名
- スタッフ** 佐藤様他20名
- イ** 4月13日(土)L 福島⑪ 森本⑤ 若林⑦ 草野⑧
山下⑪ 真貝⑪ 吉田⑪
4月14日(日)L 福島⑪ 森本⑤ 草野⑧ 山下⑪
真貝⑪ 牧石⑭ 藤井敏⑭

全国を代表する水源管理施設の宮ヶ瀬ダムサイトにおい
て、サブタイトルにあるように春の空気(GOOD OPEN
AIRS)を思う存分に満喫できたイベントであった。プリウス
森木会のブースにおいて丸太切り・シュロバッタ作り・葉巻
笛作りの指導を行った。ブース周辺にはヒノキの香りと葉
巻笛の響きが宮ヶ瀬の森に溶け込んでいた。

ご家族連れも多く、参加者とのコミュニケーションと安全
をモットーに2日間取り組んできた。おかげさまで両日とも

に300人を超える参加者を迎え、安全に熱心に楽しんでいただいた。

時折春風のイタズラもあったがトヨタ佐藤様と福島リーダーとの連携もしっかりしており、事前の準備から器材の搬入・搬出、当日のテント・机・器材の設置等的確な指示のもと準備でき、片付けも円滑に行われた。やどりき水源林や森の案内人や成長の森等のリーフレットの配布、緑の募金の呼びかけも行い有意義な2日間であった。

(記 山下 剛史 ⑪)

◆ 株式会社カナエル 森林再生パートナー活動

県立21世紀の森 竹林整備

日 平成31年4月17日(水)9:20~13:00、曇り

場 南足柄市 県立21世紀の森

参 16名(内 女性2名)

イ L小沢⑨ 渡辺(敏)⑫

企業の定例の活動とのこと。新緑の好環境である。集合前に現場下見、作業確認を行った。現場はか細いマダケの荒れたエリア。集合後、挨拶、体操、「安全第一」「緑を楽しんで」など説明を行った。

現場では2班に分かれ、改めて竹林整備の作業手順、安全注意を重ね、また荒れた状況観察、整備の必要性など理解頂いたうえで作業を開始した。全員経験者且つ若い皆さんで整備は捗った。鋸の扱いに不慣れな方には都度指導、また合間に竹のお話などをした。通路山側数mは大分明るくなり整備の成果を実感して頂けた。

皆さんは怪我もなく適度な労働の汗をかき、集合写真撮影後三々五々車で次のイベントに向かわれた。

(追記)現場通路際の棹蓄積場は、大分朽ちていて杭を打ち直し通路もスッキリした。

(記 渡辺 敏幸 ⑫)

◆ タカナシ乳業株式会社 かながわ水源林整備活動

「新緑のやどりき水源林での森林整備と森林浴を楽しむ」

日 平成31年4月20日(土)9:30~15:00、曇り後晴れ

場 足柄上郡松田町 やどりき水源林

参 70名(男45名、女25名)

看 青木様

イ L宮下⑩ 森本⑤ 若林⑦ 草野⑧ 湯浅⑪

山下⑪ 吉田⑪ 安井⑫ 笠原⑭

藤井(敏)⑭ 藤井(世)⑭ 飛田⑮

眼前に広がる新緑のグラデーションが綺麗なやどりき

水源林。集合時は少し気になる空模様であったが、活動を進めるに伴い、雲もなくなり、綺麗な青空が広がり始めました。この活動は、新入社員研修の一環として計画されたもので、今回で3回目。今年は、タカナシ乳業(株)様のグループ会社である、あしがら乳業(株)様の新入社員との合同研修活動として計画されました。予定の時間には、大勢の新入社員が大きなかばんを片手に、次々とやどりき水源林に到着。

関係者の挨拶、インストラクターの紹介、活動内容や安全対策の説明とストレッチ体操後、活動が始まりました。まず、緑のダムによる水源涵養実験と森林整備の大切さの講話には、熱心に皆様が耳を傾けていただきました。ヘルメットと枝打ち鋸などを各自装着し、タカナシの癒やしの森である溪畔林に向かいました。

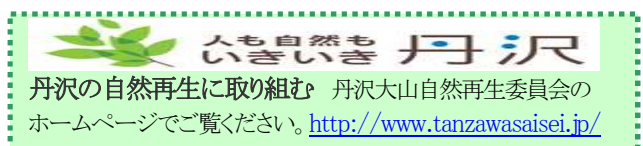


記念写真撮影後、タカナシの森の紹介。作業は6班による班編成で、台風による倒木や落枝の整理などの林内整備を行いました。記念植樹はミツマタの植栽。昨年植えたミツマタも少し花が咲き、元気に生育していた。作業後、丸太切り体験とコースター作りを行い、紙やすりで磨いたきれいなコースターへの刻印はいい記念になったようです。

午後は、新緑の中での森林浴と自然観察を兼ねたBコースのトレッキング。森林浴や癒やし体験、花ごよみを活用した春の花の観察、手入れの行き届いた森林と森林整備が必要な森林との違いを見てもらう等の活動を展開しました。

事故もなく安全に活動が進められたこと、また、募金活動にもご協力をいただき、インストラクター一同感謝の気持ちでいっぱいです。新入社員はそれぞれの赴任地に行かれるようですが、機会があれば、また、やどりき水源林に足を運んでいただきたいと思います。

(記 宮下 修一 ⑩)



◆ ナイスコミュニティー株式会社 ナイスの森探けん隊

- 日 平成31年4月20日(土)9:00~16:00、晴れ
 場 広沢寺温泉～日向薬師(七沢の森ハイキングコース)
 参 17名(大人13名、子供4名)
 イ L高橋③ 柏倉④

2003年～2005年まで続いたナイスコミュニティー(株)の顧客サービスイベントの復活である。

広沢寺温泉広場での探検隊結成式の後に出発。自然観察をし乍ら林道を登り、「ナイスの森」入口前の広場で、笹船作りをし、脇を流れる大沢川に流して遊んだ。

続いて自然観察をし乍ら「ナイスの森」の中では、水源涵養保安林の看板の前で、柏倉インストラクターが判り易い説明を行ったりして、日向山山頂仁辿りつき休息、記念撮影を行った。

日向薬師梅林まで下り、梅林広場で昼食。主催者の用意した“猪鍋”で楽しい昼食時間を過ごし、午後1時から、自然素材を使った「森の工作教室」を開催し、ウグイス笛作り、葉巻笛作り、葉っぱプリント作り、松笠、団栗、無患子、茶の実等を使い、世界に一つのオブジェ作りの指導をし、参加者全員に好評を博した。

日向薬師駐車場からバスで出発地の海老名に戻り、ピナウォーク広場にて解散式を行いイベントを終えた。今回は天候に恵まれ、新緑の森での自然観察、猪鍋、森の木工教室等、盛り沢山のメニューをこなし、怪我、事故、体調不良者も無く終了できて大変良かった。

(記 高橋 恒通 ③)

◆ 丹沢まつり 自然と歴史コース(山と里の営み)
山と里の営みコース(中学生対象)

- 日 平成31年4月21日(日)9:00~11:30、晴れ
 場 大倉尾根の観音茶屋をみさすコース
 参 秦野市立西中学校生徒16名 教師1名
 スタッフ 西地区自治会連合会(西自治連)4人
 イ L足立④ 古舘⑬

午前8時に第68回秦野丹沢まつりの山開き式が始まり、山伏の儀式と共に山門が開かれ、一般登山者が塔の岳などを目指して出発した。「山と里の営みコース」の中学生メンバーは、9時に広場でリーダーの説明を受け、簡単なストレッチ体操の後、2班に分かれて、観音茶屋を目指して出発した。

往路は大倉尾根を外れて里山の道を進んだ。スギとヒノキが両脇に立ち並ぶ参道を通ってまず「山の神」社に到

着。さらに舗装された自動車を、森林や植物の話のほかには秦野盆地のタバコや落花生の話をしながらか歩いた。しばらくして傾斜がきつい登山道に入った。鹿柵の扉を開いてひたすら30分近く登り10時半に観音茶屋に到着した。さすがの中学生も疲れた様子。ここで15分休憩。復路は一般登山客と同じ下山道を下った。途中から大倉周辺の畑の中を歩き、三の塔、烏尾山、行者岳、新大日などの丹沢山系の眺望を楽しみ11時半に戸川公園広場に戻ってきた。

(記 古舘 信生 ⑬)



【観音茶屋で休憩する中学生】

◆ 丹沢まつり 野鳥観察コース

- 日 平成31年4月21日(日)9:00~11:30、晴れ
 場 秦野市 県立秦野戸川公園
 参 11名(自治会関係者ら大人11名)
 イ L高橋③ 柏倉④

参加者は、お互いが顔見知りでも和気藹々の雰囲気が始まる。高橋リーダーの野鳥観察の心得を聞き、風の吊り橋を渡る。橋半ば、「ようこそ、もりへ！」とウグイス(嬢)の囀りに足取りも弾んで来る。

林道に入るや早速オオタカの飛翔を目にした参加者の声で一斉に空を見上げるも、既に姿はない。「オオタカは増えてきており絶滅危惧種のリストから外れました。それよりクマタカが心配です。」の話が解説の始まりとなり、道々楽しく優しい語り口で、野鳥への関心を高める話に皆耳を傾けながら歩を進める。およそ2kmの作業道(簡易舗装)を歩きながら、一人一人が四方に視線を走らせ、聴覚を研ぎ澄まして、姿は見えなくてもメジロ、シジュウカラ、コジュケイなどの鳴き声を聞いたのは12種。

野鳥の姿を十分に見ることができなかったが、その都度野鳥の生態などについての説明にうなずきつつ折り返し地点へ。その途端「オオルリ！」の声。枯木の枝にとまっていたオオルリ(雄)の背面の鮮やかな青色を望遠鏡で確か

め一同満足して帰路につく。まとめとして「探鳥会・鳥合せチェックリスト」で確認し散会する。

(記 柏倉 紘 ④)

◆ 都立高校生の社会奉仕活動 “植栽”

日 平成31年4月26日(金)8:30~12:00、雨時々曇り

場 相模原市緑区 宮ヶ瀬湖鳥居地区湖畔

参 都立小川高校一年生 320名 教師 16名

スタッフ 宮ヶ瀬財団 柳川様以下6名

イ L 柏倉④ 島岡③ 松本⑪ 西出⑫ 鈴木⑤

植栽種苗 ドウダンツツジ 160本

“行程” 8:30 インスト集合／打ち合わせ

9:00 財団との打ち合わせ

10:00 高校生順次到着レクチャー⇒作業

11:40 作業終了

“植栽活動”

小雨が時々降る中、10時前にバス8台が順次到着。学校側の記念挨拶、記念写真、財団・インストラクター紹介等の式次第は、全て中止。(雨のおそれの為)

高校生スタイル、レインコート有無、手袋有無、履物バラバラ。320名を8組、一組40名のグループに分けて、一ペア二人で植栽一本、スコップ1本、地上でレクチャーの後、一斉に植栽場所に向かう。ひな壇形式の場所、班毎に幅1米(メートル)の細長い場所で作業開始、既に植栽済の隙間の空き地に、各班20本の植栽の目安の指示棒場所で一斉に開始。前日の雨で掘りやすい。時間内植栽終了、班毎に階段を上がり終了となる。



各組の責任の教師と共に終了の挨拶も無く慌ただしい記念奉仕植樹となった。今回の植樹は、聞けば毎年植樹の高校から、担当先生が別の高校に異動、新しく植栽活動を開始。素晴らしい活動の啓蒙が引き継がれていた。

(記 鈴木 松弘 ⑤)

◆ 第12回秦野市植樹祭

日 平成31年4月27日(土)、小雨

場 秦野市曾屋 弘法山(権現山)

参 122名 (来賓22名を含む)

スタッフ (市) 石原部長、露木課長、腰塚主任他 8名

イ L小野⑨ 柏倉④ 白畑⑦ 有坂⑧ 杉崎⑩

西出⑫ 松石⑬ 牧石⑭

第12回秦野市植樹祭が開催されました。

当日の天気予報は曇りのち雨の予報、開会式が始まるころには小雨が降り出し、小雨の中で開会式がスタート。



開会宣言、挨拶、来賓紹介、記念撮影の順でスケジュールどおり行われた後、式典会場から植樹会場に1班より移動開始、次に植樹場所が遠い8班、7班、6班の順で移動。小雨の中での移動の為、斜面で足を滑らせないように注意し移動。事前に8区画に区分けされた植樹面積約4,000㎡の会場に各班20本合計155本の植樹を行いました。当初のスケジュールでは植樹後、自然観察会の予定でしたが天候が回復しないため主催者より中止の連絡が有り、参加者に自然観察中止を伝えると、昨年参加して自然観察会で見た花がきれいだったので、今年も自然観察を楽しみに参加しましたと声が聞かれました。自然観察は中止となりましたが、第12回秦野市植樹祭は無事終了しました。参加された皆様、お疲れ様でした。

(記 牧石 稔 ⑭)

緑の募金
シンボルマーク

緑の募金キャラクター
どんでりくん・どんぐりちゃん

かながわ森林インストラクターの会は『緑の募金』の支援団体としても取組んでいます。
全国で5番目/NPO法人で初めて委嘱されています。

やどりき水源林ミニガイド

5月のトピックス

ヤマブキ、ミツバツツジ、フジ等の色つきから
から白い花への移行の咲きははじめです。



マルバ OR ヒメ ウツギ? (撮影5/4)

6月の水源林

梅雨前のやどりき水源林は最高です。
植物もそして鳥達も。うまくするとサンコウ
チョウやオオルリが見聞きできます。
川も緩み、川遊びができカジカも。

「森の案内人」情報

案内人も張り切ってお待ちしています。

- 実施時間:毎週土曜・日曜・
AM10時・PM1時、1~2時間程度
- 集 合:水源林入口ゲート前
- 内 容:森林インストラクターが自然
観察にご案内します。森林のしくみ
手入れなどについて説明致します。
参加自由、参加費無料
- *10人以上の団体は事前に下記までご
連絡ください。
- 問合せ:(公財)かながわトラス
みどり財団 TEL:045-412-2255
FAX:045-412-2300
- ホームページ: <http://www.ktm.or.jp>
<http://ktm.or.jp/contents/event/127/yadorikil27.html>
- E-mail: midori@ktm.or.jp
- やどりき水源林までの道順
小田急線新松田駅または JR 御殿場線松
田駅下車、富士急湘南バス「寄(やどり
き)」行き乗車約25分。
バス下車後(案内板あり)川沿いに徒歩35
~40分。
寄大橋の右横が水源林ゲートです。

イベント情報 & ご案内



<http://www.kankou-hadano.org/tanzawastamprally>

◇ 森のなかま原稿募集 ◇

会員読者の皆様から広く募集しています。
<広報全般についてのお問い合わせ>
松本 保

Mail: matsutamori@jcom.zaq.ne.jp
Tel: 090-7962-3168
<電子配信担当> 笠原かずみ
Mail: happy_kumakuma711@icloud.com
Tel: 090-4137-9265
<メール・手書き原稿送り先>
【本誌】松本 保
〒246-0037 横浜市瀬谷区橋戸3-46-17
Fax: 045-301-9401
電話連絡先: 090-7962-3168
Mail: matsutamori@jcom.zaq.ne.jp
【別冊】黒川 敏史
〒247-0066 鎌倉市山崎2273-1-515
Tel: 080-5477-2206
Mail: kurokawa.family@aa.cyberhome.ne.jp
【別冊はCCを】福島 正治 (事務局長)
〒214-0006 川崎市多摩区菅仙谷3-1-1-204
Tel/Fax: 044-944-9423
Mail: fukky52000@yahoo.co.jp
原稿は随時受け付けています。

森のなかまは過去号もご覧になれます。
(ホームページ) <http://www.forest-kanagawa.jp/3kiroku.html#kiroku01>
(HP担当:井出恒夫)

編集後記

★早くも熱中症のニュースが！経験しましたが、辛いです。予防は、適度な運動、適切な食事、睡眠をとる。そして活動の2、3日前に1.5リットル程の水を飲むのも効果があるそうです。
(笠原)

★5月の白い花が終わりかけたばかりなのに猛暑日とは。急な気温の変化は身体に答えます。皆様ご自愛下さい。
(黒川)

★質量単位のkgの基準の定義が変わった。フランスにあった「kg原器」がついに廃止。130年間使われてきたが、精度が格段に良くなった。ついこの間までは同じように「m原器」もあったのに。時の流れは時代に比例してドンドン速くなっていますね。
(吉田)

★今月の活動を最後に広報部を卒業させて頂きませう。松本様・先輩部員の方々には大変お世話になりました。現部員の方々のご活躍を念じております。
(蘭田)

★5/10~5/12に長野にいったらTVで戸隠森林公園にツキノワグマが現れ、水芭蕉を食べていました。冬眠から覚めた熊は水芭蕉を食べその毒で下痢、嘔吐等で体から毒素を出しているそうです。
(松本)

年間通読のお申し込み

「森のなかま」年間通読をご希望の方は、郵便局備付けの郵便振替を利用してお申し込み下さい。
郵便振替口座 00230-0-2454
かながわ森林インストラクターの会宛まで2000円をお振込み下さい。振替用紙には、必ず、住所、氏名を明記して下さい。振替用紙到着の翌月号から12回/1年間お届け致します。

編集人:松本 保
事務局:福島正治
広報部:吉田郁夫 黒川敏史
笠原かずみ 加藤優美
阿藤壽孝、竹内明彦
支援:伊藤恭造 大原正志 江頭淑子

昭和52年にあじさいが町の花として制定され、「あじさいの里」が開成町に誕生しました。
あじさいまつりは、人と人とのふれあいと交流、地域や産業の発展につなげるとともに
時代を越えた茅葺き屋根の瀬戸屋敷から味わう歴史など、
開成町の魅力を広く発信していくことを目的に開催されています。

<http://kaisei-ajisai.com/>